

3. アンケート調査結果について

別紙資料 2

三本木スマートインターチェンジ

地域住民アンケート実施概要	・・・・・・・・	1 P
地域住民アンケート調査様式	・・・・・・・・	2 P
地域住民アンケート調査結果	・・・・・・・・	3～8 P
周辺企業ヒアリング実施概要	・・・・・・・・	9 P
周辺企業ヒアリング結果	・・・・・・・・	10～12 P

平成29年度の取組：地域住民アンケート

スマートIC周辺の住民に対し、スマートICの利用状況や利用促進に向けた課題等を調査するためのアンケートを、大崎市の業務委託により行った。

1) 実施概要

対象者	<ul style="list-style-type: none">▶ スマートICから半径3km(隣接ICとの境界付近)以内の大字居住者▶ 住民基本台帳より、18歳以上の方を対象に無作為抽出
調査方法	<ul style="list-style-type: none">▶ 上記で抽出した対象者への郵送配布・回収
調査時期	<ul style="list-style-type: none">▶ 平成29年11月28日(火)から12月22日(金)まで
配布数	<ul style="list-style-type: none">▶ 1,000部
回収数	<ul style="list-style-type: none">▶ 338票

平成29年度の取組：地域住民アンケート

2) アンケート調査様式

三本木スマートIC利用に関するアンケート

設問1 三本木スマートICの利用状況について、あてはまる番号に○をつけてください（1つだけ）。

①三本木スマートICを知らない ②知っているが利用したことがない ③利用したことがある
⇒設問7へ ⇒設問6へ ⇒設問2へ

設問2 三本木スマートICの平日・休日の利用状況についてお聞きします。主な利用目的、利用時間帯について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください。また、利用頻度、主な先行IC名をご記入ください。

平日	主な利用目的 (1つだけ)	①通勤・通学	②業務（通勤以外の仕事利用）	③買い物
		④通院	⑤観光・レジャー	⑥その他（ ）
平日	主な利用時間帯 (2つまで)	①6～9時	②9～13時	③13～17時
		④17～20時	⑤20～22時	⑥22～6時
平日	利用頻度 (どれか1つに記入)	週に（ ）回 月に（ ）回 年に（ ）回		
	主な先行IC名 (1つだけ)	（ ）IC ※IC名が不明の場合は地域名を記入下さい。		
休日	主な利用目的 (1つだけ)	①通勤・通学	②業務（通勤以外の仕事利用）	③買い物
		④通院	⑤観光・レジャー	⑥その他（ ）
休日	主な利用時間帯 (2つまで)	①6～9時	②9～13時	③13～17時
		④17～20時	⑤20～22時	⑥22～6時
休日	利用頻度 (どれか1つに記入)	週に（ ）回 月に（ ）回 年に（ ）回		
	主な先行IC名 (1つだけ)	（ ）IC ※IC名が不明の場合は地域名を記入下さい。		

設問3 三本木スマートICの満足度について、下記の項目別に、どの程度あてはまるか○をつけてください（各項目につき1つ）。

項目	満足度	満足	まあまあ満足	やや不満	不満	わからない
①スマートICへの案内標識の分かりやすさ						
②仙台・岩手各方面への乗り口の分かりやすさ						
③アクセス道路の走りやすさ						
④アクセス道路走行時の安全性						
⑤スマートIC料金所ゲートの通りやすさ						
⑥三本木パーキングエリアへの立ち寄りやすさ						
⑦便利施設（コンビニ等）への立ち寄りやすさ						
⑧スマートIC周辺での待合せや乗合のしやすさ						
⑨冬季のアクセス道路の除雪状況						

⇒裏面に続きます。

設問4 三本木スマートICができたことによる日常生活の変化について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください（いくつでも）。

①通勤・通学ルートが変わった ②業務の効率化が進んだ ③買い物の機会が増えた
④通院ルートが変わった ⑤観光・レジャーの機会が増えた ⑥その他（ ）
⑦特に変化はない

設問5 買い物やレジャー等で仙台市周辺に自動車を訪れる頻度と、その際の三本木スマートICの利用状況について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください。

来訪頻度 (1つだけ)	①週に1～2回	②月に2～3回	③年に数回	④その他（ ）
三本木スマートICの利用状況 (いくつでも)	①ほぼ毎回利用	②急いでいる際に利用	③一般道に渋滞が予想される際に利用	④ETC割引時間帯・曜日に利用
	⑤ほぼ利用しない	⑥その他（ ）		

設問6 設問1で②を選んだ方にお聞きします。三本木スマートICを利用しない理由について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください（いくつでも）。

①スマートICへの行き方が分からないため ②スマートICの利用方法が分からないため
③スマートICまでのアクセス道路が走りにくいのため ④他のICの方が速くなるが料金が安くなるため
⑤スマートICが距離的・時間的に遠いため ⑥コンビニなどの便利施設に立ち寄るため
⑦カーナビでは案内されないため ⑧ETCを利用していないため
⑨高速道路を利用しないため ⑩その他（ ）

設問7 皆様にお聞きします。三本木スマートICへのご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。
(利用についての課題、どうしたらもっと利用しやすくなるか等、なんでも結構です。)

最後に あなたご自身についてお聞きします。年齢、性別、職業、ETC装着状況について、あてはまる番号に○をつけてください。また、お住まいの大字をご記入ください。

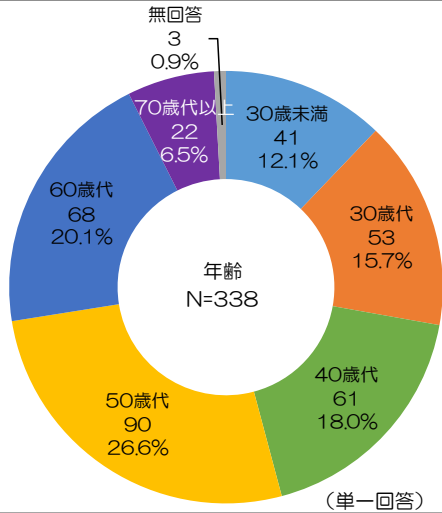
年齢	①30歳未満	②30歳代	③40歳代	④50歳代
	⑤60歳代	⑥70歳代以上		
性別	①男性	②女性		
職業	①会社員	②公務員・団体職員	③自営業	④パート・アルバイト
	⑤学生	⑥主婦・主夫	⑦無職	⑧その他（ ）
ETC装着状況	①自身の車に装着	②家族の車に装着	③装着していない	
お住まい	大崎市三本木（ ）			

以上でアンケートは終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

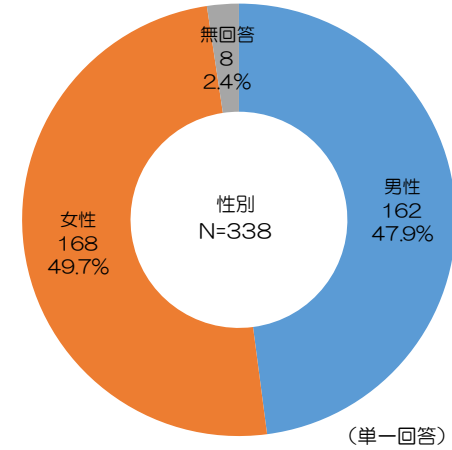
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-1 アンケート結果

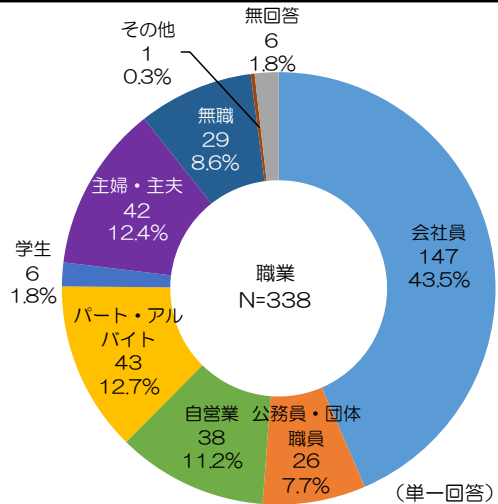
属性：年齢



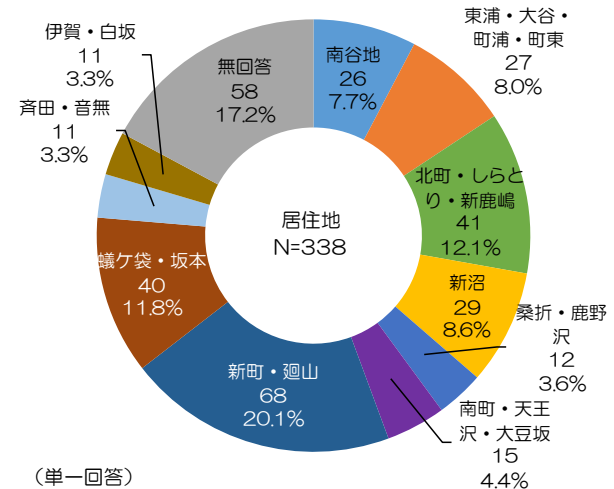
属性：性別



属性：職業



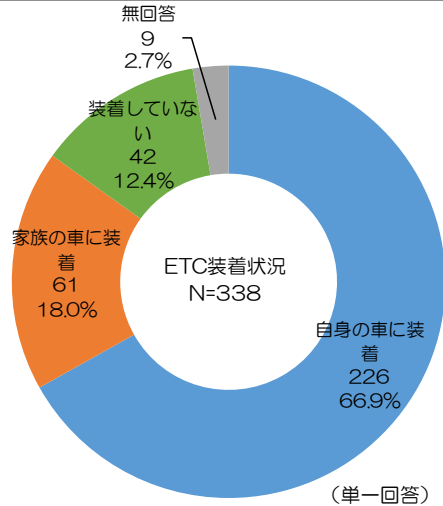
属性：居住地



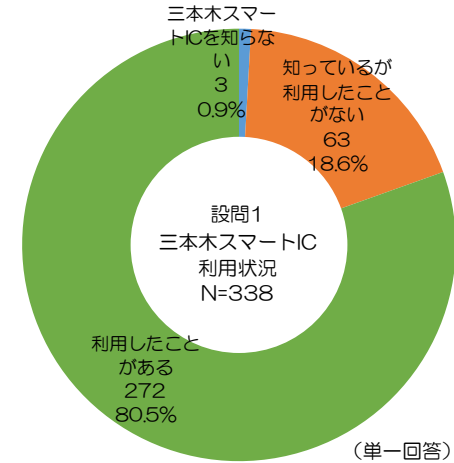
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-2 アンケート結果

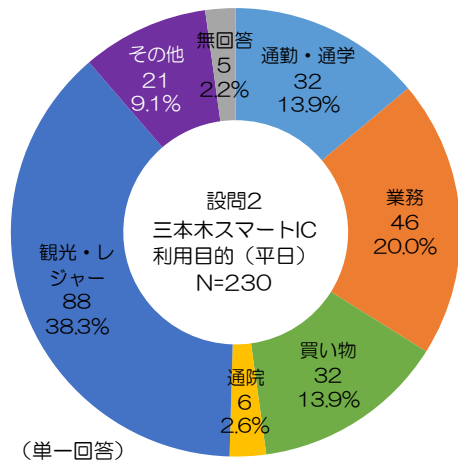
属性：ETC装着状況



問1：スマートICの利用状況

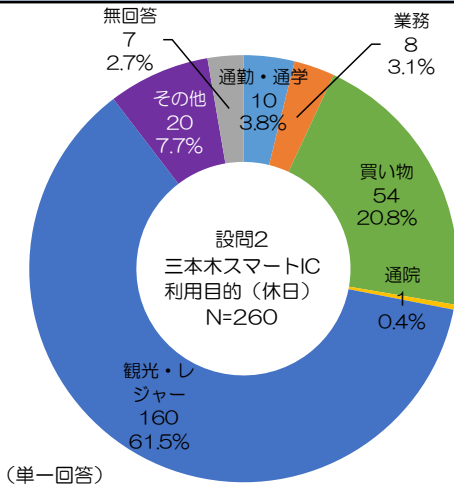


問2：スマートICの利用目的(平日)



「平日には利用しない」42件を除く

問2：スマートICの利用目的(休日)

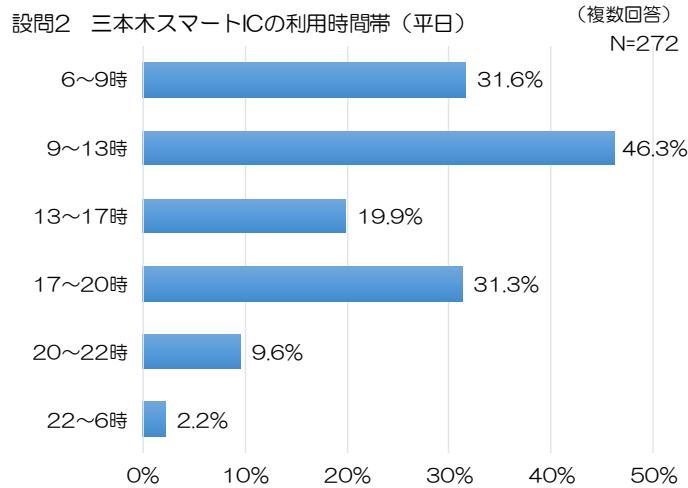


「休日には利用しない」12件を除く

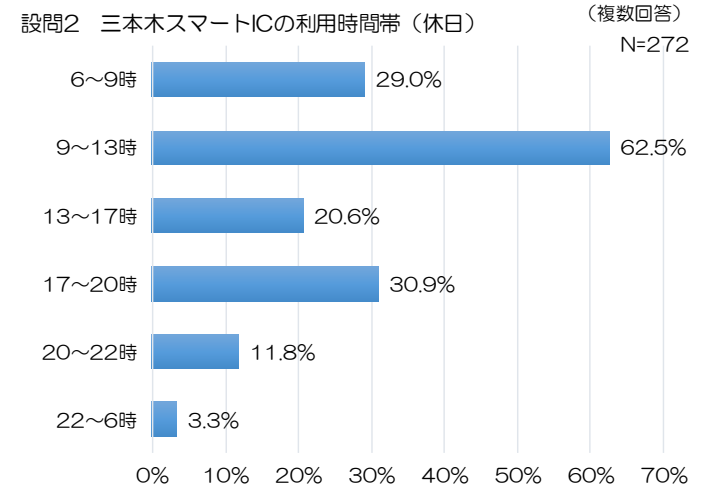
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-3 アンケート結果

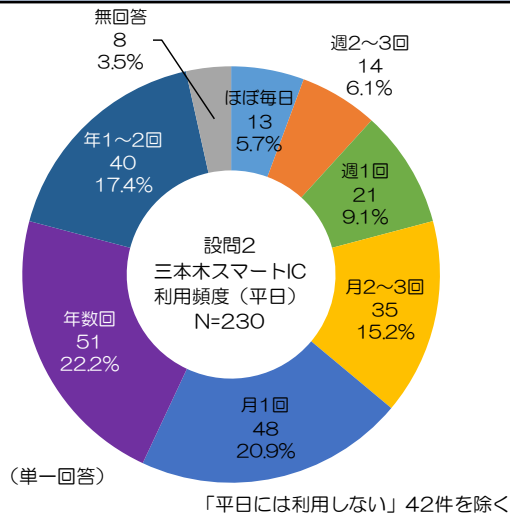
問2：スマートICの利用時間(平日)



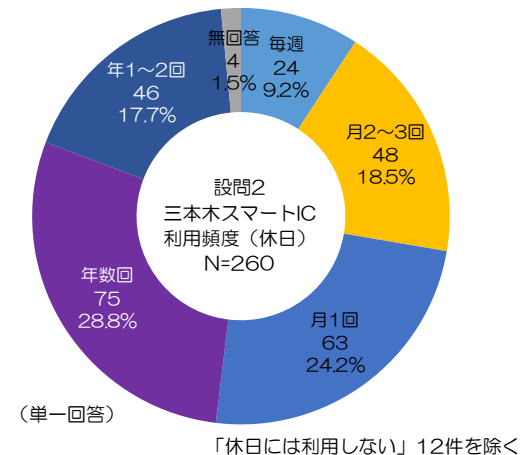
問2：スマートICの利用時間帯(休日)



問2：スマートICの利用頻度(平日)



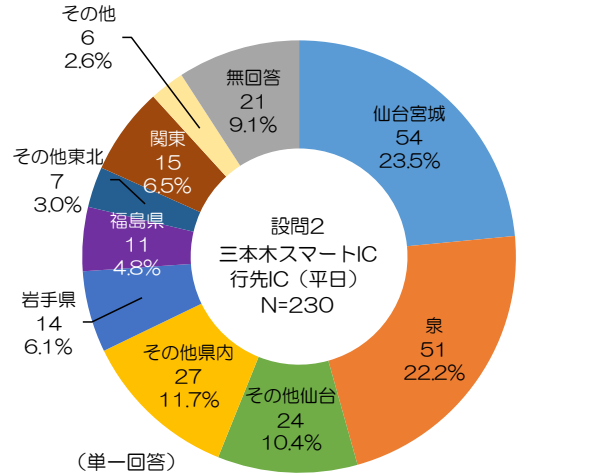
問2：スマートICの利用頻度(休日)



平成29年度の取組：地域住民アンケート

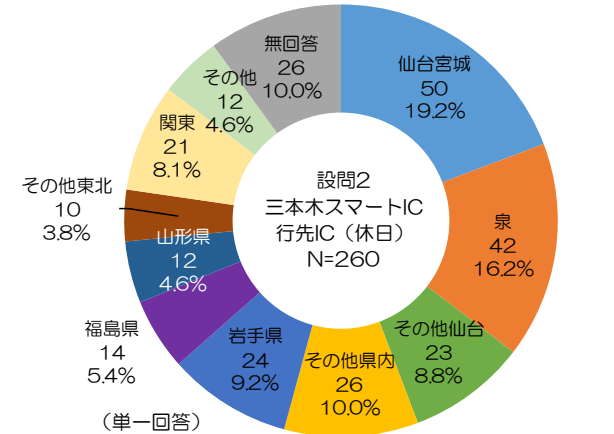
3)-4 アンケート結果

問2:スマートICの主な行先IC(平日)



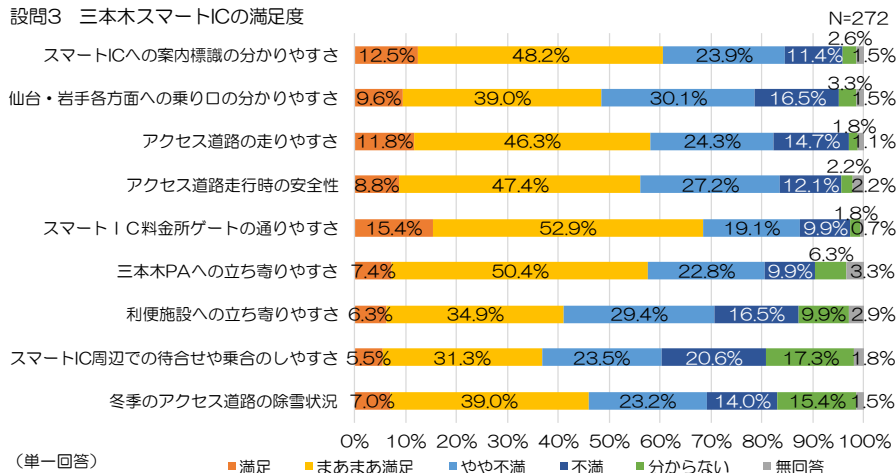
「平日には利用しない」42件を除く

問2:スマートICの主な行先IC(休日)

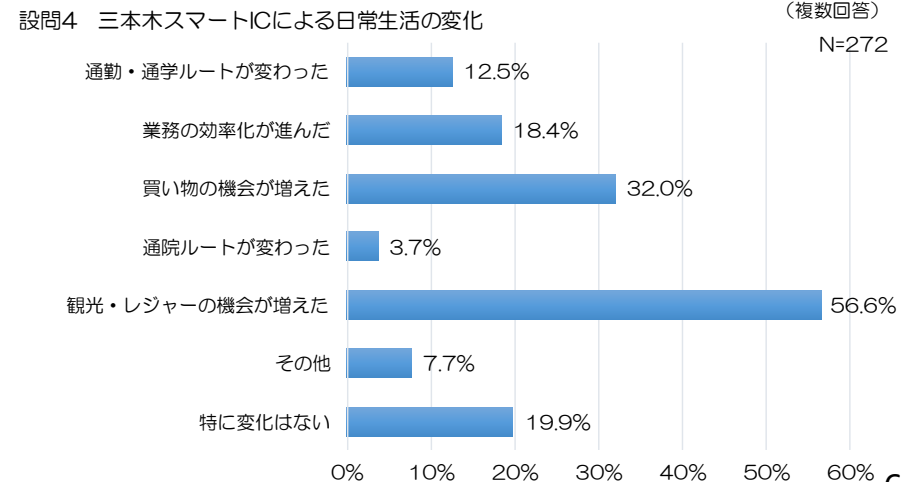


「休日には利用しない」12件を除く

問3:スマートICの満足度



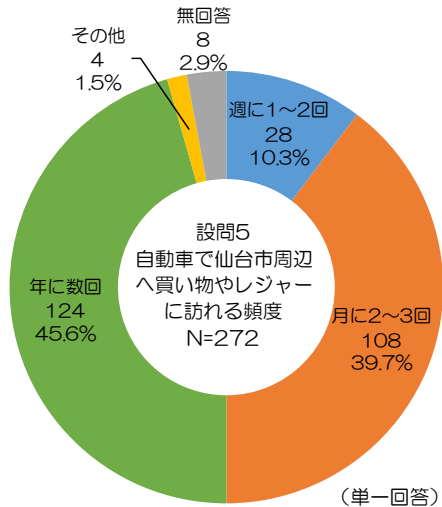
問4:スマートICによる日常生活の変化



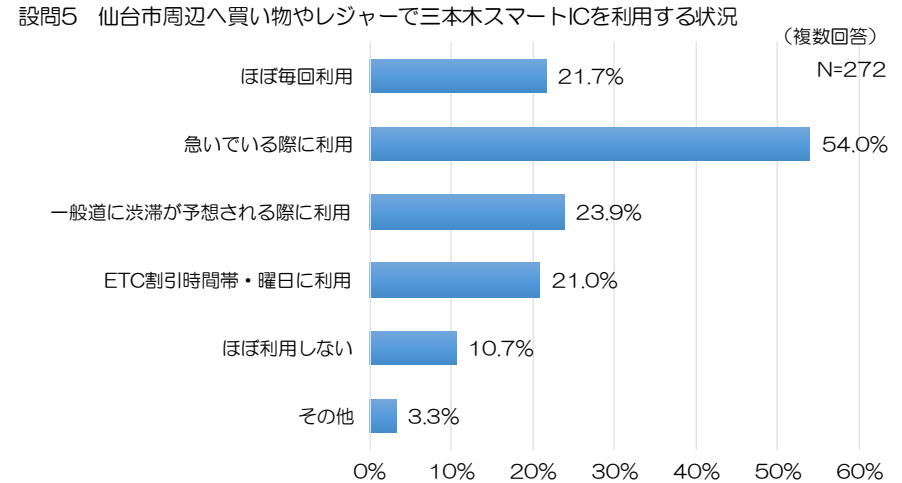
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-5 アンケート結果

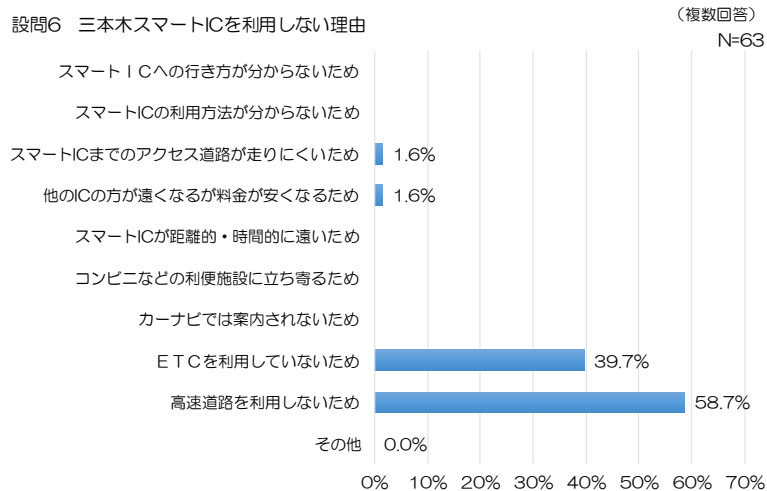
問5：自動車で仙台市周辺へ買い物やレジャーに訪れる頻度



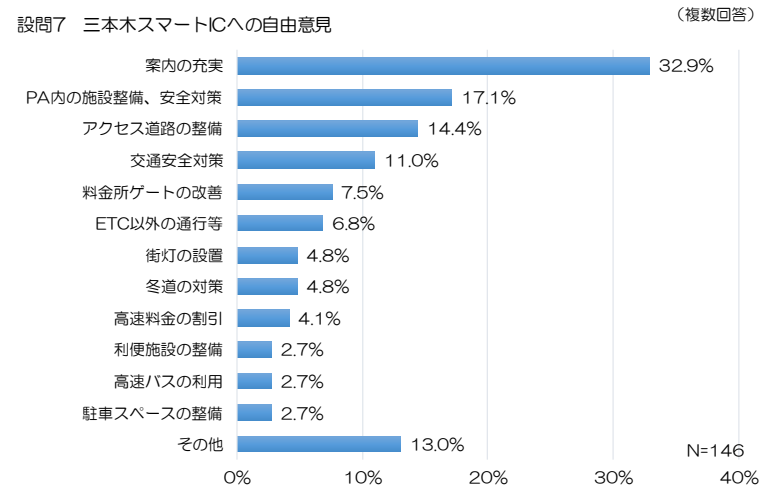
問5：仙台市周辺へ買い物やレジャーでスマートICを利用する状況



問6：スマートICを利用しない理由



問7：スマートICへの自由意見



平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-6 アンケート結果

問7:スマートICへの自由意見(抜粋)

- 4号線からすぐ見える場所になく、奥まっているので、初め、本当にそこにあるのか不安だった。仙台行きと岩手行きで、どちらの入口が正解なのか、時々分からなくなる時があった。(40歳代・女性)
- ICから一般道へ行くとき、とても分かりづらい。国道4号への出方、古川方面、仙台方面への行き方はしっかり表示してほしい。(初めて来た人は必ず迷うようです。ナビで来る人ばかりではないので)(50歳代・女性)
- トイレと自販機以外に、PAに物産品を置いて道の駅との連携を図る。(30歳代・男性)
- 上り線は本線への合流までの距離が短く加速するのに困難な時がある。パーキングの拡大、店など車で立ち寄れるところがあればなお良いと思う。(40歳代・女性)
- 泉ICを多く使います。泉ICは遠いですが多く使います。なぜなら4号線からICまでの距離が近く高速に乗りやすいからです。三本木スマートICは急ぎの時ぐらいしか使いません。カーブが多く危険で高速道路に非常に乗りにくいです。4号線からすぐ乗れるように改善すべきです。(30歳未満・男性)
- スマートICを利用する人のマナーの悪さが目立つ(ウインカーをつけない、急に曲がる、左右の安全確認をしていない等)。案内標識、出入口をもっとわかりやすく標示しても良いと思う。(30歳未満・女性)
- 子供が小学生になりスマートICの近くに住んでいるため、朝、学校に行くバス停まで車がスピードを出して道路を走ってくることが多々ありとても危険を感じます。歩道もないし…。近くに住んでいる分、スマートICを利用するときはすごく便利だが、高速に乗る前にコンビニなどがあるととてもいいですね。(30歳代・女性)
- ETCの感度を上げてほしい。他のETCゲートは通れるのだけど、三本木のゲートだけ毎回エラーになる。(30歳未満・男性)
- ETCを装着していない車も利用できるようなシステムにしてもらえると良いです(無人支払所の設置)。三本木にもっとイベントがあれば遠方よりのお客様が増えるかもしれませんね。(50歳代・女性)
- 4号線からのアクセス道路が、カーブや坂があり冬場の雪は特に危険なので、除雪をしっかりとってほしいです。(50歳代・女性)
- 三本木スマートICに限りませんが、土日祝日等のETC割引を以前のように50%にしていただけると利用しやすくなると思う。(60歳代・男性)

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

スマートIC周辺の企業に対し、スマートICの利用状況や利用促進に向けた課題等を調査するためのヒアリングを、大崎市の業務委託により行った。

1) 実施概要

対象企業	➤ スマートIC周辺企業3社
調査方法	➤ 訪問によるヒアリング
調査時期	➤ 平成29年12月7日、12日
その他	➤ 対象企業の選定は、平成27年度に実施したアンケート調査対象企業から行った。

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

2)-1 ヒアリング結果

スマートIC の利用状況	<ul style="list-style-type: none">▶ スマートICは岩手方面、福島方面どちらの移動にも利用されており、平成27年度から大きな利用の変化はみられない。▶ スマートICの利用は県外までの広域トリップが主となるが、時間に制約がある場合や、一般道が混雑する場合は、県内でもスマートICが利用されている。▶ 事業所の立地位置とスマートICの位置関係により、目的地と逆行する場合は、距離的には遠い周辺ICを利用するケースがみられる。▶ ヒアリングした3社のうち大型車の利用があるのは1社（製造業）のみであり、大型車で的高速利用は少なく、12m超となると使用自体が稀とのこと。▶ 各社とも、従業員の通勤利用はみられない。
スマートIC 利用の阻害 要因	<ul style="list-style-type: none">▶ 各社とも営業車（大型車含む）にはETC装着済みであり、ETC専用であることがスマートIC利用の阻害要因とはなっていない。▶ 12m超の大型車の利用はほとんどなく、12m規制も阻害要因とはなっていない。▶ 大型車利用のある企業からは、アクセス道路の整備がなければ、12m規制が解除されてもスマートICは利用しないとの回答があった。▶ スマートIC周辺に利便施設（ガソリンスタンド）がないため、周辺ICに迂回しているケースがみられた。▶ 紙の領収書が欲しいためにスマートICではなく周辺ICを使うとの回答もあった。
スマートIC 整備前の企 業活動	<ul style="list-style-type: none">▶ 岩手方面は古川IC、福島方面は大和ICからと、周辺ICからの転換が多い。▶ スマートICの整備により、泉ICまでの近距離トリップが発生したケースもあり、一般道から高速道路への新規利用も確認された。

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

2)-2 ヒアリング結果

整備効果	<ul style="list-style-type: none">➤ 整備効果としては、時間短縮が図られたとの意見が最も多く、特に福島方面について、大和ICからの転換で大幅な時間短縮が図られたとの回答が2社からあった。➤ スマートICの整備により、事業所から直ぐに高速道路を利用することで定時性が向上し、企業活動を支援している。また、ドライバーの疲労軽減につながったとの声も聞かれた。➤ 国道4号の渋滞については、ヒアリングした3社全てが緩和したと感じている。ただし、富谷大和拡幅等、国道4号自体の道路整備の影響を受けている可能性もある。
スマートICや周辺環境の課題	<ul style="list-style-type: none">➤ 案内看板についての意見が多く、以下の点が課題としてあげられた。<ul style="list-style-type: none">• 国道4号の設置数が少ない。事前予告を増やすべき。• 看板が小さいため分かり難い。もっと大きなもの設置すべき。• スマートICは上下方向で乗り口が分かれているため、より分かりやすい案内が必要。• 方面表示が土地勘のない人には分かり難いのではないか。➤ その他、アクセス道路はアップダウンがあるため、冬季の利用には不安があるとの意見があった。
スマートICの利用促進に必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none">➤ スマートICは国道4号から入り込んだ場所にあり、気付かずに通り過ぎてしまう人もいることを踏まえ、利用増に向けて以下の意見が寄せられた。<ul style="list-style-type: none">• 国道4号からスマートICをスムーズに接続するアクセス道路の整備• 国道4号の案内看板の増設(事前予告の充実)• 案内看板の大型化、上下方向が分かれていることに対応した分かりやすい表示➤ その他、以下の意見があった<ul style="list-style-type: none">• スマートIC周辺に利用を誘発する施設を整備• スマートIC周辺の利便施設の整備、三本木PAの充実• スマートICで紙の領収書を発行できる機能

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

2)-3 ヒアリング結果

事業所立地場所選定へのスマートICの影響	<ul style="list-style-type: none">➤ 回答の得られた2社とも、事業所立地選定には高速アクセスを考慮するため、スマートICは選定要因の1つになり得るとの回答。➤ ただし、より大きな選定要因として、一般幹線道路とのアクセスや鉄道駅とのアクセスがあげられている。➤ 現状、営業車へのETC装着は標準となっているため、大型車を使わない業種であれば、通常のICとスマートICで大きな差異は感じられないとのこと。
その他	<ul style="list-style-type: none">➤ スマートIC整備により、プライベートでの高速利用は増えている。➤ 高速バス停直近の企業では、高速バスが高速料金より安いこともあり、業務でもプライベートでも高速バスが活用されている。